



## 22年港湾春闘ついに妥結!!

### 第6回中央港湾団交（続々会）にて！

11月28日（月）10：00から開催された第6回中央港湾団交は、これまで労使政策委員会や折衝で各課題に対して議論を交わして22春闘協定書案の作成をおこなってきた経過をふまえ、業側は、（仮）協定案を団交の場で読み上げて組合側に提案を行った。

組合側は検討を行なうとして一時休憩を申し入れ。

組合で検討を行なった結果、再開し組合側は、要旨次の主張と提起を行った。

- (1) 週休二日制について、全日検はすでに取り入れているが、その労働環境を担う料金担保が出来ていないのが現状で、このままでは人員の合理化や倒産につながりかねない。関連事業者の一部でも実施に踏み切っているものの同様の事情が生まれている。そうならないように対応を図ってほしい。
- (2) 指定事業体の問題では、21春闘協定の際に厳しいやり取りの経過があった、その経過を踏まえて年内には解決を求めたい。展望が見えなければ、オーダーを出していいのかの疑問が生まれる。こんなことは言わせないでほしい。このままでは協定倒れになる。
- (3) 5.9協定改定について人手不足を解消するためにも来年の23春闘において改訂促進を図られたい。
- (4) P/Tでのトラック事業の標準運賃制度や放射線の課題について、ただちに始めてほしいことを特に申し上げたい。

期限の定めがある項目は早急に対応を！

組合側は以上の主張を行った後、22春協定案について妥結することにした。

添付：仮協定書

以 上